



物流・流通産業

Logistics

総合物流 / 航空輸送 / 宅配

経済を支える血液としての物流から商品を生み出し販売まで手掛ける物流まで。

沖縄の商品を世界に届ける仕掛け人も、物流・流通産業。

物流・流通産業にとっても、令和2年度は厳しい年となったようです。そんな状況下で、実施された職業人講話は、中身の濃い充実したものになりました。

航空物流の現場の話、空港での実際の業務から、飛行機の誘導に使う仕事道具の紹介まで、宅配企業の講話では、授業途中、同僚ドライバーが届けものに到着、というサプライズ演出もありました。

また、沖縄の商品を世界へ届ける仕事をしている講師は、業界の仕組みや全体像を解説しました。

おもちゃがどこからやってきてお店に届くのか、スマホの部品の調達から、組立て、出荷、各店舗までどのように届くのかなど。

また、シークワサーの海外輸出の難しさや、



やりがいなど、貿易業務の醍醐味を語りました。

物流・流通産業が、商品の企画・製造から販売まで、幅広く関わる仕事であり、沖縄の経済振興に深く関わっていることを学べた講話になりました。

実施事例

何でも運ぶ物流企業、多くの人の手を経て、商品は手元に届く。

知花 英剛 氏 琉球通運 管理本部 那覇市立首里中学校、八重瀬町立東風平中学校

知花氏は、欲しいものをアマゾンで注文してからの物の流れの解説から始まりました。注文が入った後、どのような流れで倉庫から飛行機にのり、家まで届くのか、そして、ホテルや大手外食チェーン、学校給食などのBtoB、イルカを運んだ経験など、物流のさまざまな事例を自身の仕事経験から解説しました。

誰もが利用する生活に密着した仕事であり、物流がストップすると、必要な物が手に入らなくなります。この産業がないと沖縄だけでなく世界が成り立ちません。仕事の現場にいるとモノの流れと経済の流れが見えてくること、重要な仕事をしていることを実感できることを語りました。

物流は国内だけではなくありません。海外からの商品を受け入れたり、沖縄のモノを海外に届け

たり。その間には外国の企業とのやりとりも頻繁に行われます。日々たくさんのものが、多くの国から沖縄に届き、沖縄の食品やお菓子などが、多くの国に運ばれていきます。多くの外国人、言葉や文化や、物流のルールの異なる国々とのやり取りの中では、もちろん外国語が使われます。

また、仕事の現場では、多くのスタッフと連携します。日々大量の荷物が、発注元、飛行機・船・トラックの手配、経由する地点の倉庫、海外であれば通関も経由して運ばれていきます。これらひとつひとつの仕事を経験する立場のスタッフが支えています。

そのメンバーがチームとなって、仕事を進めていくことも、知花氏のやりがいであることを伝えました。

産業別 事例紹介

こどもたちのこえ。

物流は自分たちの身近にあって、とても大切な仕事だとも思った。(首里中) / 流通で消費者までの道は遠いことがわかった。将来に向けてそれを少なくできるように挑戦したいと思った。 / 最初は誰でもいいと思ってたけど、話を聞くと面白くてだんだん流通のイメージが変わった / 一回の注文が3万個(ロットで発注する例えの話)が印象に残りました。(仲井真小) / 物流は自分たちの身近にあって、とても大切な仕事だとも思った。(東風平中) / 物流の仕事は今まで気にもしていませんでしたが、今は自分たちの暮らしを支える大切な存在という感じがします。(松島中) / 物流産業はただ荷物を運ぶだけかと思っていたけれど経済を支える大切な産業 / 接客だけでなくグランドスタッフなどの影の仕事が輝いていると思った / たくさんの人が関わっている。そのために私にいろいろのものが届いている。 / 飛行機を1便飛ばすのにたくさんの人たちが関わっていて、一人一人が自分の仕事をきっちりやらないと1便が飛ばないこと。 / 私は仕事というものに固いイメージを持っていましたが、小さなことから自分の思いもよらないことをやりたいと思うことがあると知って、挑戦できるものはやって選択の幅を広げたいと思った(南星中)



業界解説

物流・流通産業を知ろう!

業界解説シート



いまのシゴト

- すべての家庭とシゴトにつながるシゴト。
- 世界が大きく変化してもなくなるらない。
- 倉庫には多くの最先端技術が使われている。
- さまざまな重機を扱うシゴトも多い。
- 通関ではさまざまな国の商品を扱う。

未来のシゴト

- 倉庫内ロボット、自動運転、ドローンが活躍。
- より広く世界中の商品を扱うようになる。
- 世界的な人材不足に。
- 女性の活躍がこれから始まる。

シゴトと勉強 学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。

| | | | | |
|---|-----------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|
| 国語 法律関係の文書などを読むことが多い。 | 算数・数学 多数のモノを効率よく運ぶ計算など。 | 理科 天気図を読むシゴトもあり。 | 社会 道路から世界まで、地図を見るシゴトは多い。 | 英語 海外資料を読んだり、外国人と話すことも多い。 |
| 体育 重機の操作には、長時間、特殊な環境の作業も多く、体力が必要。 | コンピュータ よりコンピュータ活用が重要に。 | コミュニケーション 外国の船員、貿易会社など外国人とのシゴトも多い。 | | |

物流・流通産業は、飛行機や船・トラックで、モノを運ぶシゴト。農漁業の野菜や魚を、市場から卸(おろし)を通じてスーパー・小売店や飲食店に運びます。また、県外の工場で作られた食品は、一度倉庫に運ばれ、卸を通じてお店に並びます。

海外商品の輸入には、貿易会社の通関(つうかん)という手続きを経て、国内に運ばれます。直接、家にモノを運ぶことは宅配といえます。住宅や道路を作る資材、石油などの燃料、県外で作られた部品を工場に運ぶシゴトもあります。

令和2年度 沖縄県雇用政策課 未来の産業人材育成事業 2021.03 ver.1.0

| | |
|------|------------------------------|
| 実施回数 | 5回 |
| 講師数 | 4名 |
| 講師 | 加藤政貴・神谷亮・岸川浩平・知花英剛(敬称略・50音順) |

